

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.35 R. 5. 2. 10 (金)
文責：山口伸一郎

入学説明会で、「子育て講座」を実施しました。

2月3日(金)、新1年生の入学説明会においてさせば「子育て講座」を実施いたしました。本講座は、佐世保市教育委員会社会教育課のご協力で毎年開催しているもので、本校では例年、新1年生の入学説明会に合わせて実施しているものです。

今年度は、吉井町福井で「古民家体験工房&CAFÉ とらいかん」を運営なさっている、柴山節子氏を講師にお迎えし、「食で生き生きアップ」という演題でおよそ30分お話をいただきました。内容は、まさに「食の大切さ」についてですが、中でも特に、「朝食の大切さ」についてのお話でした。

母親としての子育てのご経験はもちろん、現在は祖母としてお孫さんに接しておられる中での思いや元教職員としての視点も織り交ぜながら、子どもたちの健やかな成長において「朝食」の果たす役割はとて大きいものであることを熱くお話いただきました。特に、朝食において、具だくさんの一杯で様々な栄養が摂れる「みそ汁」を食べることは身体や脳にとってとてもよく、ぜひ、毎日の朝食で子どもたちに食べさせてあげてほしいというお話がありました。時間がない時は、前の晩から仕込むこともできますよというアドバイスもありました。

学校では、学校保健委員会のテーマの中にも、メディアとともに「早寝・早起き・朝ごはん」を掲げ、定期的に「いきいきカード」の取組等を行いながら、基本的な生活習慣の定着をめざしています。今回の柴山先生のお話は、シンプルですがとても大切なことであると考えます。子どもたちにとって、学校生活の時間は、1日のおよそ三分の一を占める長い時間となります。朝から、しっかりとエネルギーを補給し、充実した1日のスタートが切れるように、ご家庭でもご支援いただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。



＜柴山先生のご講演の様子＞

「事前予告なしの(火災)避難訓練を実施しました。」

2月3日(金)、2校時の休み時間に、予告なしの避難訓練を実施しました。内容は、2校時の休み時間にサイレンが鳴り、静かにして指示を待つように放送し、給食室から出火していることを放送で伝えて、自主的に避難するものです。

学校では、これまでも学期に1回の避難訓練を実施しました。1学期は火災、2学期は地震を想定しての訓練であり、どちらも授業中に担任が引率する方法での実施でした。今回は、その2回の訓練を生かして、子どもたち自身が出火場所から安全な避難経路を判断して避難することをめざして行ったもので、より現実に近いものであったと思います。

結果は、課題の多いものとなりました。まず、「放送をしっかりと聞くこと」がうまくできませんでした。これでは、出火場所をしっかりと把握できず、安全な避難経路を判断することができなくなります。また、大きな声が聞こえることもある等、冷静に行動することが難しく、これまでに学んだ「お・か・し・も」を守る意識も低くなってしまいました。

避難後、振り返りにおいて全員で課題を共有し、「一つしかないいのちを守るためには、どのように行動しなければならないのか」、「訓練のための訓練にならないようにすることの大切さ」等を、しっかりと確認しました。「自身やみんなのいのちをしっかりと守るための防災訓練の在り方」についても、今後研鑽を深めていきたいと思ひます。

